

**関連法規**

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学習指導要領
- ・都や区の教育目標

**大泉第一小学校 学校教育目標**

◎思いやりのある子 ◎よく考える子 ◎健康で明るい子

- ・児童の実態
- ・保護者、地域の願い

**学校経営計画（学力向上に関わる要点）**

○どの子ども伸ばし、支える教育の充実

- ・ユニバーサルデザイン教育を視点とした授業改善
- ・複数教員で児童を育てる指導体制の工夫
- ・特別支援教室と連携した取組の充実

○社会で活躍できる力の育成

- ・問題解決的な学習の推進
- ・教科横断的な学びを構築
- ・計画的な評価の実施による授業改善

**生活科・総合的な学習の時間の重点**

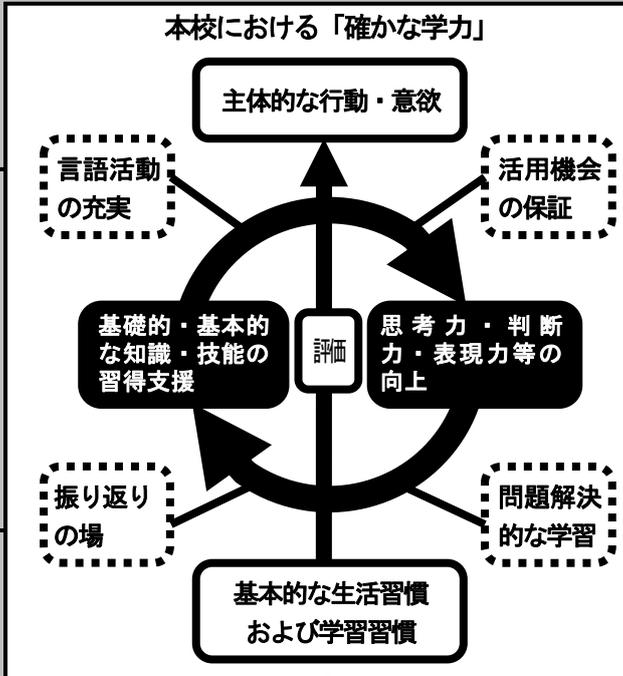
○各教科での学びを生かした教科横断的な学びを構築する。

○探究的な学習を通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。

○地域の教育資源を活用した体験的な活動を充実させる。

**特別活動・キャリア教育の指導の重点**

○特別活動において、合意形成や自己決定を行う場面を設定したり、キャリア・パスポートを活用したりすることで、一人一人の児童のキャリア形成と自己実現を図る。



**道徳教育の指導の重点**

○自らすすんで考え、行動できる道徳実践力を高める。

○人を思いやる心を育む。

○社会との関わりについて考えさせ、社会への貢献意欲を育む。

**生活指導の重点**

○「大一小スタンダード」に基づいて、基本的な生活習慣の定着を図り、社会の一員として自立を促す。

○特別支援教育を視点とした組織的な生活指導の充実を図る。

**外国語・外国語活動の重点**

○外国の言葉や文化に親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲と素地を養う。

**「確かな学力」のサイクル**

○言語活動の充実	全ての学習活動の基盤
○活用機会の保証	学習内容の着実な定着
○問題解決的な学習	考える楽しさを得られる授業設計
○振り返りの場	学びたいという気持ちの喚起

**検証**

○児童の学力調査等の結果を分析し、指導上の課題を明らかにする。

○保護者等による外部評価を分析し、ニーズに応える。

**本校の授業改善に向けた視点**

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携や工夫	小中一貫教育の視点
<p>○個別最適な学びの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決的な学習の充実</li> <li>・習熟度別学習や自己が設定した探究活動の充実</li> <li>・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善</li> </ul> <p>○協働的な学びの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対話技能の習得</li> <li>・思考を深める手だての実施</li> <li>・ICTの活用</li> </ul>	<p>○授業時数の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週の指導計画、授業時数の記録による時数の進行管理</li> </ul> <p>○「学びのパスポート」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週2回の朝学習で、学級の実態に応じた基礎学力を定着させる取り組みを実施</li> </ul> <p>○読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週金曜日に朝読書を設定し、単元の並行読書等に活用</li> <li>・年3回の読書旬間</li> </ul> <p>○体力向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中休みを運動遊び時間とし、運動時間を確保し、課題に応じた指導の場の設定</li> </ul>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善推進プランの作成と共有</li> </ul> <p>○実践的な校内研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業、研修の実施による、実践的な指導力の向上</li> </ul> <p>○研究成果のフィードバック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究で得た成果を発達段階に応じて教育課程に反映</li> </ul>	<p>○適正な評価の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価方法や指導結果等の細かな共通理解</li> <li>・評価方法の見直しによる妥当性や信頼性の向上</li> </ul> <p>○形成的評価の見取りによる授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な児童の学習状況の把握による授業改善</li> </ul>	<p>○地域の教育資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の教育施設や人材を活用した体験的学習の実施</li> </ul> <p>○家庭と連携した学習習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の意識調査や学校関係者評価の結果に基づく、保護者への情報提供および協力要請</li> </ul>	<p>○校区别協議会の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学への円滑な接続を図るための大泉北中学校および大泉北小学校との連携</li> </ul> <p>○指導法や接続の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の指導内容を踏まえた教科等の系統的な指導、小中連携の在り方の研究と実践</li> </ul>